

天トラベル」がまとめた2015年の関西2府4県への旅行予約件数は14年と比べ21.3%伸びた。人気テーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」(USJ、大阪市)のほか、定番の京都や大規模改修を終えた姫路城(兵庫県姫路市)など世界遺産関連に注目が集ま

大阪府(18.3%増)や京都府(21.1%増)だけでなく、関西で昨年伸び率が最も大きかったのは和歌山県(35.7%増)だ。開創1200年を迎えた世界遺産の高野山に加え、温泉やレジャー施設が充実する白浜エリアの人気も高まった。

3人以上が31.8%増とレジャー利用の伸びが引。関西エリアでは昨年、USJや世界遺産など話題が豊富で子連れファミリー、カップルの予約が目立った。(楽天の山本考執行役員)。

実際、予約した人の居住地などをみると東京都在住の子連れファミリーが

中小の発案 商品化競う

大阪府 企業・学生招きイベント

大阪府は4月から、府内の中小企業が自分たちのアイデアを商品化するのを支援する事業を始め。IT(情報技術)関連企業や学生を招き、チームで事業化プランなどを競うイベント「アイデアソン」を開催し、サイブスを共同開発する。IT企業による学生採用などにつながる狙いもある。

事業費は1500万円

(人件費などを除く)で、全額を国の地方創生の交付金で賄う。2015年度2月補正予算案に盛り込む。

府は5月以降、府内の中小企業に無料のセミナーを開催し、中小企業から選んだ30社に中小企業診断士らが個別に無料相談に乗る。その代わりに相談した企業は自社のアイデアをアイデアソンの題材に提供する。

アイデアソンは夏以降に府内または東京で開催。府内のIT企業や首都圏の大学に通う学生に参加してもらい、中小企

和菓子 駅ナカで脚光

「けし餅」「みたらし小餅」など関西の老舗メーカーの和菓子が注目されている。西日本旅客鉄道(JR西日本)が新大阪駅構内に昨年末に全面開業した商業施設「エキマルシェ新大阪」などの駅ナカで多く扱われるようになったためだ。定番以外の商材を売りたい鉄道会社、顧客層を広げたいメーカーの要望が一致。女性客や出張客の購入が広がってきた。

エキマルシェ新大阪の人気商品の一つがけし餅。江戸時代創業の小島屋(堺市)が製造する堺の銘菓だ。「大阪の和菓子が欲しくてインターネットで見つけた。自分用や両親への土産にいいな

小島屋 けし餅

千鳥屋宗家 みたらし小餅

と「思って」。旅行の帰り、週末は売り切れる日に手に取った東京都豊島区の主婦、小岩井麻子さんを908円で売っている。(41)は笑顔で語る。

北海道十勝産の小豆を使ったこしあんを餅皮で包み、ケシの実をまぶしている。口の中でぶちぶちとはじける実、甘すぎないあんによる「他にない食感が人気」(ジェイール西日本デベロップメント・チェーン事業本部の大橋一秀担当部長)だ。

老舗の味、新たな関西土産に



独特な食感のけし餅などが幅広い層に人気だ (エキマルシェ新大阪)

除けば新大阪駅にご当地商品には少なかつた。その商品は少なかった。その商品も充実させた。した潜在需要を吸収したのが駅ナカ。エキマルシェでは売り場の電子看板で菓子メーカーの歴史を紹介するなど展示を工夫。企業への贈答ニーズが、駅ナカを利用すれば

出張客や地元客を取り込める機会が広がる。スーパーなどで売られてきた和菓子の取り扱ひも増えた。植垣米菓(神戸市)の「うぐいすポール」はかりんとうのような食感のあらわれ。関西で80年以上親しまれてきた商品をリニューアルした。植垣米菓は「関西以外の顧客や若者を開拓するためエキマルシェに専門店を初出店し、抹茶など8種類をそろえた。

ジェイール西日本デベロップメント・チェーン事業本部の大橋一秀担当部長は「菓子メーカーなどとタイアップして盛り上げたい」と意気込む。橋担当部長は「大橋が進めば人気はさらに広がりそうだ。」